

年少ひよこ組
劇ごっこ
「とうもろこしの
はなし」

夏に育てた「トウモロコシ」が
大きく膨らんできました。
いよいよ収穫だ！と楽しみに登園
してきたら…トウモロコシは
何者かに食べられていました！
「いったい誰が食べたんだろう？」
子どもたちの素朴な疑問から
生まれたお話です。



運動会にもやってきた
カラスたちから、大切
な「トウモロコシ」を
守ろう！

トウモロコシが何者かに食べられていたある夏の日、担任は「きっとカラスに違いない！」と信じて疑いませんでした。それを聞いた子どもたちは、「カラスじゃないかもしれないよ。」「親切な風さんが守ってくれたはず。」「イカさんがいればお水をあげれるね。」などなど…。次から次へとお話が出て来て…。あっという間にひとつのストーリーが出来上がりました。

登場人物



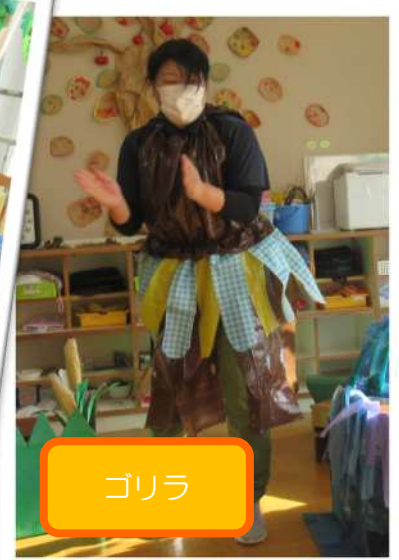
さる



親切な風



イカ



ゴリラ



トウモロコシ

カラス



ねないこだだだ
のおばけ

Story

① みんなで育てたトウモロコシが大きくなりました。ひよこ組の子どもたちは「月曜日に収穫しようね。」と帰っていきました。

おなかがすいたな～。

② 森の動物たちはおなかがペコペコ。「こんなところにトウモロコシがある。夜にこっそり食べに来よう。」

③ さるさんがやってきてトウモロコシを食べようとしたが「歯に挟まるからいらない。」と食べませんでした。ゴリラさんもやってきましたが、帰っていきました。

